

鹿大「進取の精神」支援基金 平成 30 年度留学生受入推進事業
協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト参加者報告書

2019 年 5 月 17 日

学生 情報	氏名 name	Aldhyta Sabrina Jayanthy アルディタ・サブリナ・ジャヤンティ
	出身国 country	インドネシア
	出身大学 university	Andalas University アンダラス大学

かごしまだいがく かつどう こんご てんぼう
鹿児島大学での活動と今後の展望

鹿児島大学に交換留学生としてくることができた後は、大学で日本語を勉強だけでなく、色々活動を参加した。例えば、小学校でインドネシアのことを紹介して防災についても一緒に勉強してた。インドネシアで地震とかよく起きる。どこでも起きる可能性があるが、こんな知識があんまりないから、勉強した後、これは必要だと思った。それから、他の学生や社会人も合流して、ボランティアに参加した。日本に来る前に、日本人は個人主義だと思った。そんな人もきつといるけど、私の友達にはいなかった。そして、鹿児島市役所の活動にも参加した。なぜなら、私はインターネットのサイトを持っているから鹿児島県内のことを詳しく知りたかったからだ。そしてサイトに記事を書いた。鹿児島市役所が鹿児島のいい所や有名な食べ物やお茶式や焼き物等を紹介してくれた。それは全部ただで貰った。私にとってこれはすごくいい経験だ。それだけでなく、日本人のインドネシア楽器のコミュニティにも参加した。全部の活動を日本語で話したおかげで、私の日本語力は高くなったと思う。

鹿児島での生活は、まず、難しかった。なぜなら、最初は鹿児島のイメージがなかったからだ。私は日本の有名な場所しか知らなかった。鹿児島にはお祈り場所が少ないしハラル食べ物も少ないし言語も難しかった。でも、なんとなく、時間が流れるうちに、そんなことにゆっくり慣れていった。そして、日本にいるお陰で、がんばることや、時間を守ることを学んだ。鹿児島に優しい人も多い。年上の知らない人でも出会ったら笑顔で挨拶してくれたことは忘れられない。今、鹿児島のことを友達に紹介している。鹿児島はセカンドホームタウンになった感じだ。長い休みがあったら鹿児島に戻りたいなと思っている。

今年の三月に帰国した後、5月に卒論の試験が終わったら、6月に卒業して、日本企業に就職したいと思っている。特に、ツアー（ガイドとか通訳）に興味があるので、ツアーの会社に扱う仕事をしてみたい。先生方と友達と鹿児島でお世話になった人、それからこの奨学金で、私に沢山機会をくださって、ありがとうございました。心から感謝しています。

